KNT－CTパートナーズ会総会特集

12連合会長に聞く事業方針

北海道連合会
会社の総合力に期待
濱野　清正（洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラス）

今年4月で近畿日本ツーリストの北海道ひまわり会とクラブツーリズムのパートナーズ会北海道連合会が一つとなりKNT－CTパートナーズ会北海道連合会として5周年を迎えました。会員の皆さま、本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は「アドベンチャーツーリズム」（ATT）の「アドベンチャートラベル・ワールドサミット」が初めて9月に北海道でリアル開催され、まさにATT元年ともいえる年になりました。北海道は「美しく雄大な自然」や「豊かな食」、アイヌ文化や世界文化遺産に登録された縄文遺跡群といった「北海道独自の文化」、「サイクリングやカヌー、スキーといった「多様なアクティビティ」を楽しむ環境が整っており、まさにATTの適地で、今後の観光の柱になるものと考えます。

旅行業界を取り巻く環境はここ数年でパンフレットからウェブ中心へのシフトが加速し、北海道外から北海道へ旅行商品の形態はダイナミックパッケージへと従来から大きく変化してきました。

さらにLCCの浸透、国内のみならず海外も含めたOTAのさらなる台頭と逆風もありましたが、昨年度の宿泊券の取り扱いは前年比129％と前年を大きく上回ることができました。しかし2018年度比では70％台とまだまだ回復途上と考えます。ただ訪日向けサイト（JTO）による宿泊券の販売は2018年度も大きく上回るペースで伸長し今後も期待できます。

また今年10月よりKNT－CTホールディングスが一体となっての北海道キャンペーンが計画されております。今回の北海道キャンペーンではKNT－CT全体の取り組みとして、個人・団体と北海道への送客を展開予定なので期待します。

KNT－CTパートナーズ会北海道連合会の今年度目標達成と北海道全域への送客に大きく期待を寄せており、KNT－CTホールディングスの総合力を発揮していただきたいと思います。

本部をはじめとして皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

北東北連合会
地域誘客で観光復活を
菊地　善雄（愛真館ホテル紫苑）

平素より北東北連合会の事業活動に際し、連合会会員並びにKNT－CTホールディングスグループ各社の皆さまには多大なるご支援ご協力を賜ります。

インバウンドのお客さまにつきましては、東北の各空港での定期便の再開やチャーター便の運航などでアジア圏を中心にお客さまが増えた1年ではありました。しかしながらインバウンド全体での東北地方のシェアはまだまだ低く、今後も東北ならではの魅力ある自然や食文化・祭りなどのコンテンツを発信していくことでインバウンド需要のさらなる拡大が図れるものと考えます。

近年の円安の影響もあり海外旅行をされていた方が国内旅行へシフトをしているとの報道がありました。北東北連合会としましてはこれを好機と捉え、KNT－CTホールディングス各社社員向け研修や商談会を実施し、北東北の魅力を理解いただいた上で送客につなげていただく、さまざまな事業も実施してまいります。

最後になりますが本年も北東北連合会活動への一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

南東北連合会
新地域コンテンツ発掘を
渡邉　和裕（水織音の宿 山水荘）

KNT－CTパートナーズ会南東北連合会会員、ならびにKNT－CTホールディングスグループ各社におかれましては、平素より南東北連合会の事業活動に多大なるご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、1月1日に発生した能登半島地震により被災されました会員の皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

さて昨年度、新型コロナウイルス感染病の位置づけが5月8日より5類感染症に変更になったことにより、ようやく観光にも明るい兆しが見え始め、特にインバウンドにおいては一部オーバーツーリズム問題が発生するほどの活況を呈しています。かたや全国的に人手不足の問題が顕在化し、またウクライナ戦争を起因とした急激な物価の上昇、そして能登半島地震に代表される各地に起こる地震等、今後も想定外の事態に迫られることも多々あるものと思われます。南東北連合会といたしましては、これらの事態に対処するために、KNT－CTホールディングスグループ各社との連携を強化し、共生、共創の理念の下、「新たな地域コンテンツ」の発掘、「持続可能な観光地域づくり」に取り組み、持続可能な新しい旅行スタイルを会社と共に創っていきたいと考えております。

折しも、3月1日付で国土交通省より「道路運送法における許可又は登録を要しない運送に関するガイドライン」の通達が発出されました。内容を簡単に紹介すると、①無償運送でも定められた実費を取ることを認める②商店等への立ち寄り・観光スポットへの送迎も可能③ツアーやガイドに付随した運送が可能－など、高齢社会や共働きの進展、地域へのさまざまな観光客の来訪などを考慮し、自家使用の自動車による運送等にも一定の役割を持たせないと社会・経済活動が困難としています。これらを踏まえ、新たな旅のスタイルを会社と共に作っていくことがわれわれの使命と考えます。会員各位の今後ますますのご協力をお願いしあいさつといたします。

関東甲信越連合会
変化への対応を迅速に
春原　良裕（志賀ハイランドホテル）

日頃より関東甲信越連合会の事業活動に対してKNT－CTホールディングスグループ並びにパートナーズ会会員の皆さまには、多大なるご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また1月の令和6年能登半島地震により甚大な被害を受け被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルスの5類移行で旅行業も国内旅行やインバウンドなどの回復でにぎわいを取り戻しつつあり、再生に向けて大きな前進ができた年になりました。

そのような状況の中、会社が進める事業構造改革に沿って共生、共創をしながら団体旅行、個人旅行を問わず地域創生を目指して各地への誘客展開に協力していきたいと考えております。連合会としてもコンプライアンスを順守し、お客さまに「安心、安全のサービス」「おもてなし」を提供しながら持続可能な新たな旅の楽しさを提供するスタイルの定着を目指し、会社と一体となって推進してまいります。

管内各支部の地域特性を生かした教育旅行、地域交流事業やエリアキャンペーン等で域内商品販売を目的に、団体、個人旅行の需要喚起の一翼を担っていきたいと考えております。さらにクラブツーリズムの企画力・集客力を生かした地域イベントやこれを生かした旅行商品の開発に協力し、地域への誘客拡大を目指します。

会社のミッションであるお客さまからの信頼回復を第一に、お客さまの「想い」をカタチにし、お客さまと地域社会の「発展」に貢献し続けることに協力し、会員の皆さまへの誘客を中心に地域での展開をして活性化を目指していきます。

本年度の連合会方針として、取り組みの柱である「団体旅行」「個人旅行」「WEB商品販売」に最大限の協力を行い、KNT－CTパートナーズ会事業の第一義である宿泊券、観光券、船車券増売に向けて進んでまいります。

具体的には①地域自治体等と連携してSDGsを含めた素材の開発や新たな旅行商品の情報提供を行い、WEB商品への活用を進め販売チャネルや訪日客の誘客情報の発信をする②会社と共同して連合会、支部主導のエリアキャンペーンや域内販売活動や商談会の実施③社員現地研修、商談会、情報連絡会議等への宿泊部会、運輸部会、観光部会の3部会で協力、連携していく④変化に迅速に対応できる当連合会を会社とともに創りあげるーです。

本年度は、活気ある当連合会を取り戻せるようKNT－CTホールディングスグループとより密接に連携し困難を乗り越えて事業活動を推進してまいります。

最後になりましたが、会員の皆さまには、今後の活動のご理解ご協力、KNT－CTホールディングスグループのご支援、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

首都圏連合会
リアル部分も大切に
鈴木　茂男（ホテル南風荘）

日頃よりご厚情を賜っております関係各位に対し心より御礼申し上げます。

また令和6年能登半島地震により被災された方々にお見舞い申し上げます。当連合会でも各地の観光振興に向け協力してまいります。

震災があり改めて思うのは「人と人とのつながり」です。リアルエージェントとして会社は当日に地震対策本部を設置しました。

現地に残されたお客さまのために危険を承知でご協力いただいたバス会社さま、現地能登半島に向かった社員の皆さま、避難所として受け入れしている宿泊施設などホスピタリティ産業に従事する私たちは協力しながら困難を乗り越えてきました。

WEB化の推進ももちろん重要ですが、頼れる会社として旅行会社はリアル部分も大切に強化していく必要があると痛感しております。

2024年4月より改正障がい者差別解消法が施行されました。今までも配慮はしておりますが「合理的配慮の提供が義務」となりました。さらに人材不足、アレルギーや外国語への対応など課題は多くあります。変更点や注意点など発生した課題は会社と協力しながら解決していきたいと考えます。

その上で、新しい「旅」の在り方を考え、現代社会に合致した新しい事業展開に昇華させ、社会的使命を達成しつつ新たな収入源に結び付けていきたいと思います。

会社はビジョンとして「旧習にとらわれない営業改革・働き方改革の推進と高い創意性・機動力により価値創造企業としての真価を発揮して、地域で最も愛され、最初に選んでいただける会社を目指す」ことを掲げております。

団体旅行・個人旅行・WEB販売を中心に販促活動をし、KNT－CTパートナーズ会各会員機関への送客を目指していきます。気を引き締め、コンプライアンスを順守し信頼を積み重ね、KNT－CTホールディングスグループと共に前進してまいります。

最後になりますが会員の皆さまには今後の活動にご理解とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

北陸連合会
新幹線生かし前向きに
萬谷　正幸（瑠璃光）

令和6年1月1日に起きた能登大地震により、北陸連合会では大きな被害を受けた旅館、観光施設が続出しました。能登エリアの和倉温泉、輪島地区は特に多大な被害が出て、いまだに復旧のめども立っていない状況です。

富山・福井エリア、金沢・加賀エリアでも地域、施設によっては大なり小なり地震により建物や設備に被害を受け、一時的に休業を余儀なくされた旅館も多数ありました。

また、補修工事をしながら営業を続けた旅館や施設においても地震以降大きなキャンセルが発生し、1、2月はいわゆる風評被害によりほぼ休業状態のような状況でした。

ただ、3月16日の北陸新幹線の敦賀延伸開業により少しずつお客さまが戻ってきています。本来ならば北陸新幹線の延伸開業により特に加賀温泉、芦原温泉・福井エリアにおいては100年に一度といわれる一大イベントと期待していただけに1月の地震で盛り上がりに欠けたスタートとなってしまいました。

同時に地震の風評被害を受けた石川、福井、富山、新潟県の一部については北陸応援割が始まり、ようやくお客さまの動きが活発になってきたような状況です。

3年以上もコロナ禍で痛めつけられてきたわれわれ観光業界もようやくコロナ禍が終わり「今年から」という時に思いもかけない災害により出鼻をくじかれたような気がします。能登和倉の旅館からは、能登エリアは当分お客さまの受け入れは無理だが、ほかの北陸の観光地、温泉エリアにお客さまに来ていただくことが能登地区の早い復興につながるという言葉もいただいていますので、能登地区の現状を考えると本当に心が痛み一日も早い復旧再開を願っています。

4月現在いまだに一部旅館では被害者の受け入れも続いており、並行して一般のお客さまの受け入れもしている状況ですが、GW明けには北陸応援割の第2弾も決まり、能登エリア以外の地域では何とか風評被害を払拭し夏から秋に向けての集客を新幹線効果も合わせて前向きに実施していきたいと思っています。

この間、KNT－CTホールディングス、KNT－CTパートナーズ会の各連合会、支部などからたくさんの義援金や各支部から現地北陸への応援宿泊ツアーなどで激励のメッセージもいただき本当にありがとうございました。

これをしっかりと能登の復興支援、北陸への誘客対策キャンペーンなどへ有効に使わせていただきたいと考えています。またこの感謝の気持ちを北陸連合会としても必ず何らかの形でお返ししたいと思っています。

また本年10月には全国交流事業が北陸の地での開催と急きょ決まり、これに向けても全国の会員の皆さまを万全の態勢でお迎えしたいと考えております。ぜひこの機会に北陸へお越しいただきたいと思っております。

当連合会は今年度をもって東海連合会と合併し、来年度より中部連合会として新しく発足することとなりましたが、今年は北陸単独の最後の事業として、商談会や関西、首都圏での観光物産展、観光PR事業などの実施、北陸3県の支部と連携して出向宣伝キャラバンなども積極的に応援、実施していく計画です。

最後になりますが、KNT－CTホールディングス、KNT－CTパートナーズ会の皆さまのますますのご繁栄を祈念申し上げますとともに、今後とも能登地区を中心とした当連合会への一層のご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

東海連合会
最終年も積極情報発信
上野　哲男（鳥羽グランドホテル）

東海連合会の総会

日頃よりご厚情を賜り、関係各位に対しまして心よりお礼申し上げます。はじめに、このたびの令和6年能登半島地震により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

昨年度の東海地方の経済はコロナ禍を乗り越え、緩やかな回復基調を取り戻しました。観光に関しましても、2023年5月にコロナ感染症が5類に移行してから、国内旅行需要が個人旅行を中心に安定し、さらに入国規制解除後はインバウンドが急速に回復し、旅行業界の業績も上向きました。現在はインバウンド市場では順調な回復を見せていますが、国内旅行者数は2019年比で7割程度の回復にとどまっています。

管内では、「どうする家康　大河ドラマ館」が岡崎市と浜松市にオープンし、入館者数がそれぞれ60万人を超えました。また、2022年11月にオープンした「ジブリパーク」が「もののけの里」と「魔女の谷」の新エリアをオープンし、注目を集めています。さらに、三重県では「志摩スペイン村」が30周年を迎え、盛況を極めています。

東海連合会は、愛知、岐阜、三重、および静岡県西部からなる支部で組織され、各支部が主体的に活動し、連合会はそれを支援する体制を取っています。今年度も、昨年同様に旅行販売部門の社員の皆さまに当地域をより深く知っていただくための現地社員研修やキャラバンを計画しています。

また、当連合会は次年度より北陸連合会と一緒になり、中部連合会として再出発します。東海連合会として最後の年ということで、今年夏には名古屋で国内誘致プレゼンテーション・商談会を、秋には首都圏で個別商談会を計画し、現地の最新情報を提供します。さらに、KNT－CTパートナーズ会本部はグループ会社との共生・共創を掲げており、連合会としても協力してまいります。

最後になりますが、会員の皆さまとKNT－CTホールディングスグループ全社員の皆さまの繁栄をご祈念させていただきますとともに、本年も当連合会への一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

自家天然源泉　飛騨高山温泉
飛天の湯

〈高山駅・バスセンターより徒歩５分〉
〈古い町並・朝市へもゆったり散策できます〉
政府登録国際観光ホテル
ひだホテルプラザ
〒506-0009　岐阜県高山市花岡町２丁目６０番地
TEL 0577-33-4600　公式ＷＥＢサイトはこちら⇒